



Title	財団法人 大阪防疫協会の思い出
Author(s)	石橋, 夕吉
Citation	makoto. 1977, 20, p. 13a-13a
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86169
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

財団法人 大阪防疫協会の思い出

財団法人 日本公衆衛生協会

会長 石橋 夕吉

数人いたものであつた。こんな時代に防疫協会は生れ育つた。

府庁でも必要欠くべからずと思ふ。他の場所から地下室に場所を与えてやつて貰つた。

終戦の混乱が未だ納らない頃
昭和二十六年一月私は大阪府の衛生部長を拝命した。当時は赤痢腸チフスが流行しており時折天然痘なども流行する時代であった。終戦直後は物資の不足の

時代で防疫にも人手はあつても消毒薬もワクチンも仲々入手がむつかしかつた。府が直接購入する時もあつたが防疫には備蓄が必要であり有事の用意にワクチンを持つていないと安心して

生省の防疫課長をしていたことがあつたが何時も地方からワクチンを買受けるため厚生省の私の課に泊り込んでワクチンの出来てくるのを待つてゐる人々が